

平成 24 年度ヤクシカ対策について（中間報告）

九州地方環境事務所

1. ヤクシカの個体数密度調査

- ・平成 24 年 10 月～11 月に、島内 37 地点で糞粒調査を実施。なお、4 地点については、鹿児島県による糞粒調査結果を引用。
- ・平均生息密度は 50.1 頭/km²（表 1）と推定。
- ・全島での推定生息頭数は 18,677 頭(16,402～21,088 頭)（表 2）。
- ・奥岳及び南部で密度が低く、北部、西部、南西部及び東部において高密度（図 1）。

2. 植生保護柵内外の植生調査

- ・平成 22 年度に標高別（0m、300m、600m、900m、1,300m）に設置した 5 基の植生保護柵及び平成 23 年度に花之江河（1,600m）に設置した植生保護柵の保護柵内外で植生調査を実施。
- ・現時点では植生保護柵内外で明瞭な違いは未確認。

3. 東部モデル地域におけるヤクシカ個体数管理の推進

1) くくり罠及び猟銃による捕獲の推進

- ・合計 153 頭のヤクシカを捕獲（表 3）。
- くくり罠：9 月～11 月にかけて 61 日間実施し、137 頭を捕獲。
（※ 平成 23 年度は 65 頭捕獲）
- 猟銃：11 月～2 月にかけて月 1 回猟犬を用いた巻狩り猟を実施。
11 月は 8 頭、12 月は 4 頭、1 月は 2 頭、2 月は 2 頭の計 16 頭を捕獲。
（※ 平成 23 年度は 26 頭捕獲）

2) くくり罠見学会の実施

- ・平成 24 年 9 月 1 日に 1 回実施。
- ・参加者は 5 名と少なかったが、現場での作業を伴う講習会は好評。
- ・また、見学会参加者によっては、その後の捕獲頭数を伸ばしていることから、意欲のある狩猟者にとっては効果のある取組であることを示唆。

4. 植生保護柵の設置

- 平成 24 年度第 1 回ヤクシカ WG での議論を踏まえ、南部地域及び絶滅のおそれのある植物種の群落を保全する観点から、緊急性の高い絶滅危惧種の生育地 2 か所（安房前岳のツルラン群生地及びモッチョム岳のコモチイノデ群生地）において、植生保護柵の設置を予定。

図 1. 平成 24 年度の糞粒調査結果に基づくヤクシカ生息密度のコンター図

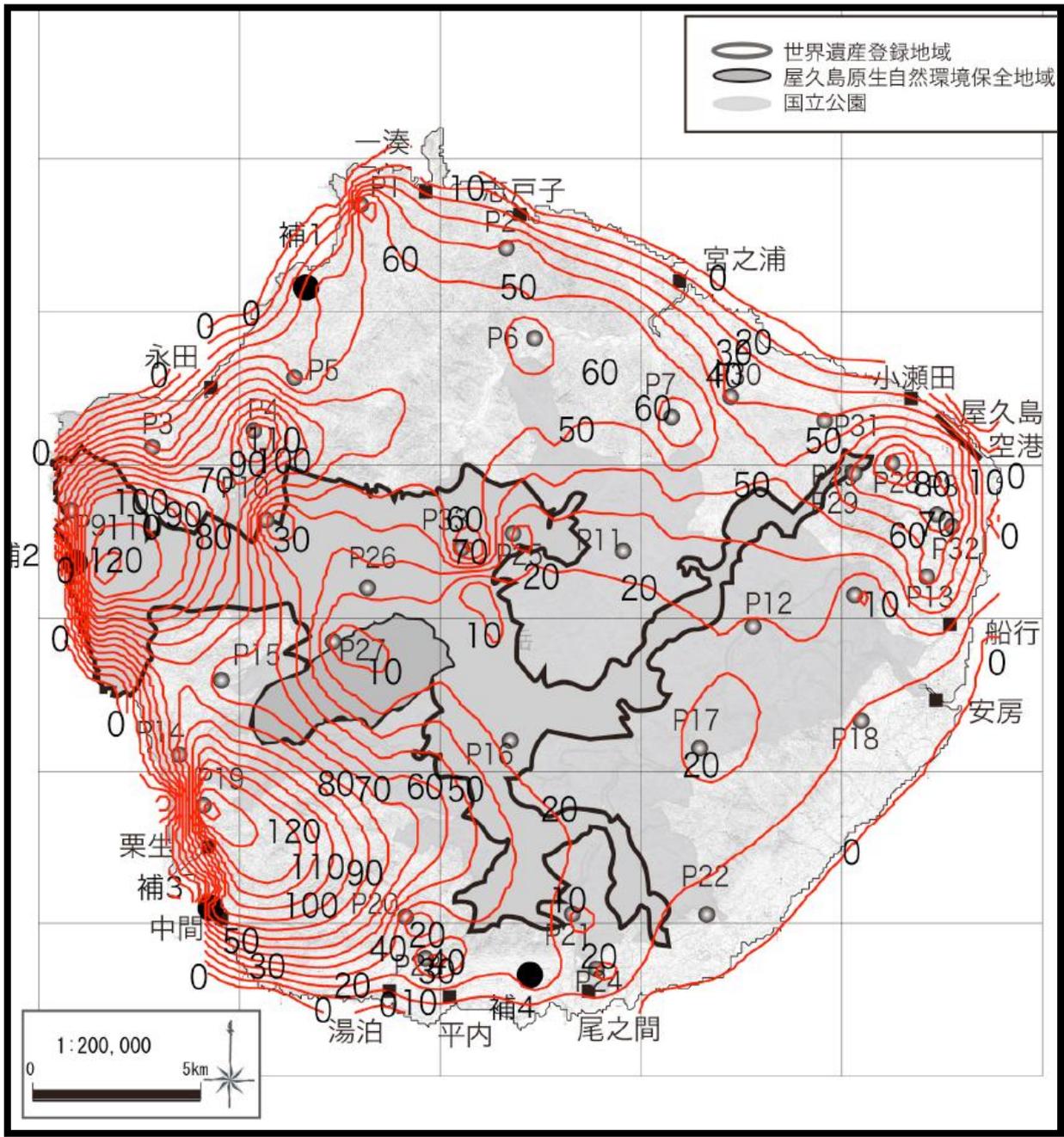


表 1. 屋久島の 37 地点におけるヤクシカの糞粒数と推定密度

No.	地点名	糞粒数			推定密度(頭/km ²)		
		H20-21	H23	H24	H20-21	H23	H24
1	一湊林道	172		376	24.8		63.4
2	志戸子林道	303		291	43.7		46.5
3	カンカケ岳	305		279	44		46.8
4	永田歩道入口	216		634	31.2		118.3
5	永田林道	319		238	46		37.2
6	宮之浦川	278		457	40.1		69.8
7	白谷雲水峡	115		693	12.9		71.8
8	愛子岳	432	233	366	62.4	37	57.6
9	西部林道	644		626	96.7		106
10	竹の辻	378		245	35.4		20.2
11	小杉谷	107		1011	12		82.5
12	荒川ダム	126		198	14.1		18.2
13	船行	194	207	361	28	32.9	57.6
14	大川林道入口	398		434	59.8		82.6
15	大川林道～花山	189		448	27.3		54.1
16	淀川登山道	381		313	42.7		14.5
17	ヤクスギランド	123		380	35.7		27.3
18	安房	63		48	7.1		6.9
19	栗生	639		873	71.7		161.2
20	湯泊林道	290		78	32.5		10.4
21	尾之間歩道	15		52	2.3		7.2
22	千尋滝	41		52	5.9		7.9
23	平内	103		258	15.5		45.0
24	尾之間	0		134	0.01		24.3
25	小高塚岳	518		409	59.2		16.7
26	鹿之沢小屋	395		168	55.5		8.0
27	花山歩道	152		82	21.3		4.6
28	町営牧場	641	432	612	92.5	67.5	93.5
29	小瀬田林道	146	184	481	21.1	30.6	68.3
30	楠川歩道	363	66	160	52.4	10.3	22.9
31	榑川林道		13	191		2.1	30.6
32	落川北		40	434		6.6	71.8
33	平石岩屋		115	4		4	0.1
34	吉田			233			40.0
35	西部林道 2			737			135.1
36	中間			512			93.9
37	恋泊			167			29.8
平均		268		352	36.5		50.1

※ 灰色のセルに記載した4地点については、鹿児島県より提供。

表 2. 屋久島全島におけるヤクシカ推定生息数の比較

	地点数	調査方法	推定頭数	90%信頼限界	推定方法
H20-21	61 (※1)	糞粒 + 糞塊 (30) (31)	16,015 (※2)	—	メッシュ内密度 × メッシュ内生息可能植生面積 (400mメッシュ)
H24	37	糞粒 (33 環境省) (4 鹿児島県)	18,677	16,402~21,088	メッシュ内密度 × メッシュ内生息可能植生面積 (400mメッシュ)

※1 平成21年度霧島屋久国立公園屋久島地域におけるヤクシカ適正管理方策検討業務報告書

※2 特定鳥獣（ヤクシカ）保護管理計画

表 3. くくり罠及び銃猟の結果

捕獲方法	実施時期	日数	捕獲頭数	合計	
くくり罠	9月	30	56	137	153
	10月	31	81		
銃猟 (巻狩り)	11月	1	8	16	
	12月	1	4		
	1月	1	2		
	2月	1	2		

参考資料. 平成 21 年度と平成 24 年度のヤクシカ生息密度コンター図の比較

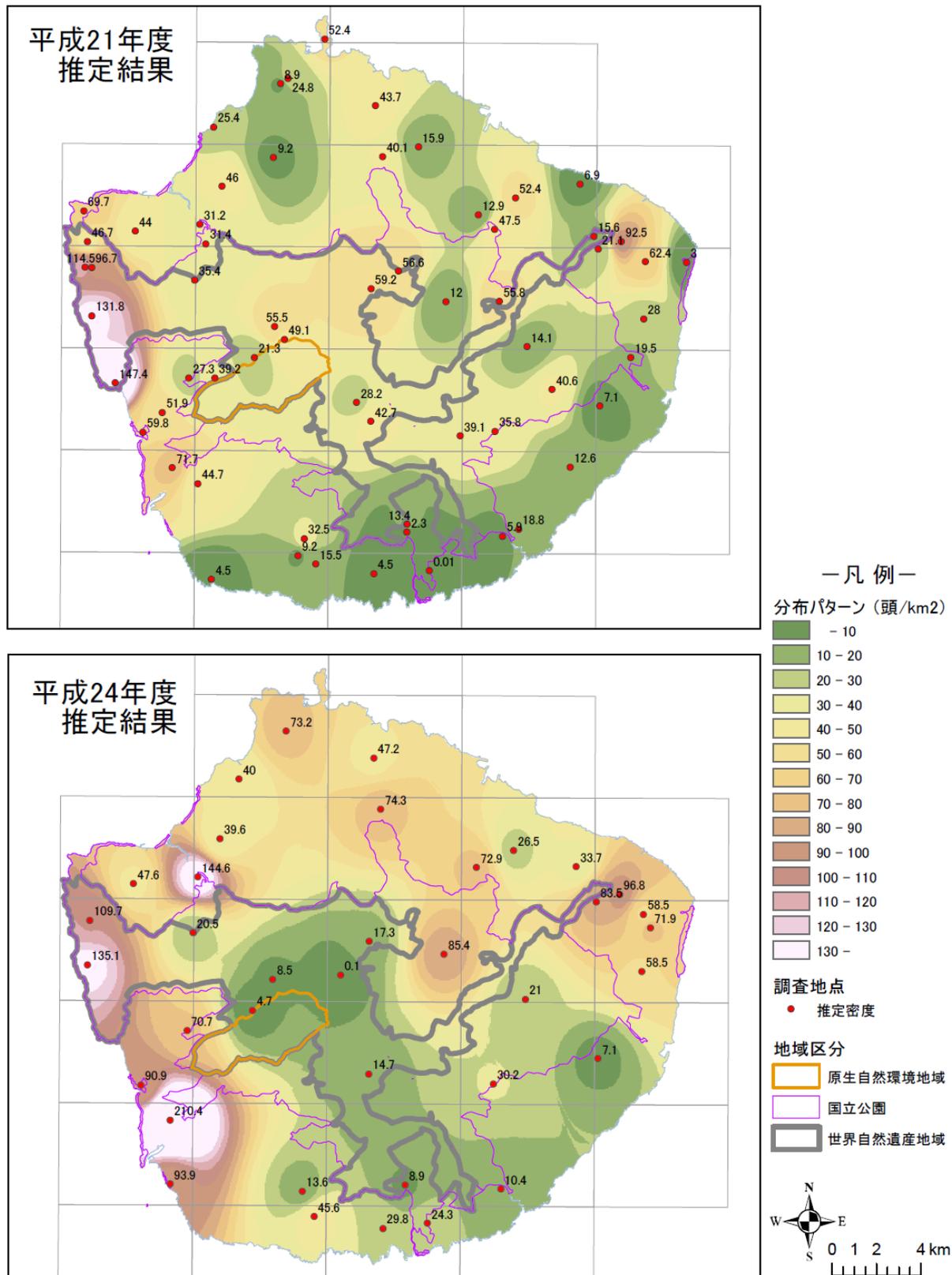


表 1 推定個体数

ブロック区分	平成 20 年度	平成 24 年度		
	推定個体数 (頭)	推定個体数 (頭)	下限 90%～上限 90%	シミュレーション 予測個体数 (頭)
北部	1,800	2,654	2,381 ～ 2,956	1,583
北東部	2,573	2,796	2,435 ～ 3,198	1,306
南東部	705	310	151 ～ 487	625
南部	732	772	643 ～ 914	603
西部	3,806	4,793	4,494 ～ 5,126	4,084
中央部	6,399	7,352	6,297 ～ 8,407	8,681
全体	16,015	18,677	16,402 ～ 21,088	16,882

表 2 ブロック毎の推定頭数から SIMPLEX 法により算出した平均増加率

区分	平成 20 年 度推定頭数	平成 24 年 度推定頭数	平均増加率*	期間捕獲数
北部	1,800	2,654	1.20	838
北東部	2,573	2,796	1.22	2,041
南東部	705	310	0.96	317
南部	732	772	1.12	395
西部	3,806	4,793	1.08	1,190
中央部	6,399	7,352	1.02	577
全体	16,015	18,677	1.13	5,358

*, 移出入の影響を含むと考えられる値で, 真の内的自然増加率ではない。